

## クリスチャンとしての目標を立てて達成するには

「これらのことについてよく考え、打ち込みなさい。そうすれば、あなたの進歩は誰の目にも明らかになるでしょう」。テモテ第一 4:15 これらのことについてよく考え(\*黙想し), 打ち込みなさい。そうすれば、あなたの進歩は誰の目にも明らかになるでしょう。

### 84 番の歌 人々の力になろう

何を学ぶか\*テモテは、良い知らせを伝える面で立派な働きをしていました。それでも、パウロはテモテに対して、クリスチャンとして成長していくようにと励ました。テモテはパウロからの助言に従ったので、エホバにとつて用いやすい人、仲間をよく助ける人になることができました。あなたもテモテと同じように、エホバや仲間にもっと仕えたいと思っているに違いありません。では、そうする上でどんな目標を持つとよいでしょうか。こうした目標を立て、達成していくために、どんなことをする必要がありますか。

1. どんな目標を持つことができますか。

真のクリスチャンである私たちは、エホバを心から愛しています。それで、エホバにできるだけ良いものを捧げたいと思っています。私たちは、自分にできる限りのことを行うために、目標を持つ必要があります。例えば、①クリスチャンとしての人格を磨くことや、②役立つ技術を学ぶことや、③さまざまな方法で仲間に仕えることなどです。

2. クリスチャンとして、目標を立て、それに向かって努力する必要があるのはなぜですか。

2 私たちがクリスチャンとして進歩することを目指すべきなのはなぜでしょうか。①まず第一に、愛情深い天のお父さんエホバに喜んでいただきたいと思っているからです。私たちが自分の能力を十分に生かしてエホバに仕える時、エホバは喜んでくださいます。②また私たちは、もっと仲間の兄弟姉妹の助けになりたいと思っているので、クリスチャンとして進歩することを目指します。（テサ一 4:9, 10 兄弟愛に関しては、書き送るまでもないでしょう。皆さんは神に教えられて愛し合っているからです。10 実際、皆さんはマケドニア全域にいる全ての兄弟たちに愛を示しています。とはいって、兄弟たち、いっそう愛し合うように勧めます）エホバにどれほどの間仕えてきたとしても、私たちは皆、クリスチャンとして進歩することができます。どのようにでしょうか。

3. テモテ第一 4 章 12-16 節によると、パウロはテモテにどんなことを励ましたか。

3 パウロが「テモテへの第一の手紙」を書いた時(AD61-64)、テモテは立派な青年で、長老としてすでに経験を積んでいました。それでも、パウロはテモテに対して、クリスチャンとしてさらに進歩するよう励ました。（テモテ第一 4:12-16 あなたが若いからといって、誰にも見下されないように

しなさい。かえって、言葉や振る舞い、また愛、信仰、清さ(\*貞潔さ)の点で、忠実な人たちの手本となってください。 13 私がそちらに行くまで、朗読と説き勧める(\*励ます)ことと教えることに励んでください。 14 預言に基づいて長老団があなたに手を置いた時に与えられた贈り物(\*能力)を、軽視してはなりません。 15 これらのことについてよく考え(\*默想し)、打ち込みなさい。そうすれば、あなたの進歩は誰の目にも明らかになるでしょう。 16 自分自身と自分の教えに絶えず注意を払いなさい。これらのことを粘り強く行いなさい。そうするなら、あなたは自分自身と、あなたの言葉に耳を傾ける人たちを救うことになりますを読む。) パウロの言葉から、パウロがテモテに2つの面で進歩してほしいと思っていたことが分かります。1つは、①クリスチャンとしての人格を磨き、愛や信仰や清さなどを身に着けること、もう1つは、②朗読や説き勧めることや教えることといった技術を磨くことです。では、テモテの手本を思いに留めつつ、達成可能な目標を立てることがクリスチャンとして進歩する上でどのように役立つかを考えていきましょう。そして、エホバへの奉仕をもっと行うためにどんなことができるかも調べましょう。

## クリスチャンとしての人格を磨く

4. [フィリピ 2章 19-22節](#)からすると、テモテがエホバにとって用いやすい人だったのはなぜですか。

4 テモテがエホバにとって用いやすい人だったのはなぜでしょうか。それは、テモテがクリスチヤンとして素晴らしい人格を身に着けていたからです。 ([フィリピ 2:19-22](#) 主イエスが望むなら、私はテモテを間もなくそちらに遣わしたいと思っています。皆さんの様子を聞いて励みを得たいのです。 20 テモテほど皆さんことを心から気遣える人は、ほかにいません。 21 他の人は皆、自分のことばかり考え、イエス・キリストのことを考えていません。 22 一方、皆さんも知っている通り、テモテはこれまで立派にやってきました。父親と一緒に働く子供のように、私と一緒に一生懸命良い知らせを広めてきましたを読む。) パウロの言葉から、テモテが謙遜、忠実、勤勉で、信頼できる人だったことが分かります。また、テモテは仲間を心から愛し、気遣う人でした。だからこそ、パウロはテモテを愛し、ためらうことなく難しい務めを託しました。 ([コリー 4:17](#) そのために、私が愛する(d\*愛する子)テモテをそちらへ遣わします。テモテは主に忠実に仕えており、キリスト・イエスに従う私のやり方(\*生き方)を皆さんに思い出させるでしょう。私が各地の全ての会衆で教えているやり方です) 私たちも、エホバに喜ばれる人格を磨くなら、エホバから愛され、会衆にいっそう貢献することができます。 ([詩 25:9](#) 温厚な人を正しく歩むよう導く。ご自分の道を温厚な人に教える: [138:6](#) エホバは高い所にいるが、謙遜な人に目を留める。しかし傲慢な人のことは、遠くから知っているにすぎない)



(イ) ク里斯チャンの人格のどの面を磨きたいかを決める。 (5-6節を参照。)

5. (ア) クリスチャンとしての人格を磨くための目標をどのように立てることができますか。 (イ) 写真の若い姉妹は、思いやりをいっそう示すという目標にどのように取り組んでいますか。

5 具体的な目標を立てる。(ア-1)祈りつつ、自分のどこを改善できるかについて考えてみましょう。そして、その中から 1つを選んで取り組んでみることができます。例えば、①いっそう思いやりのある人になること、②仲間を助けたいという気持ちを強めること、あるいは、③人と仲良くし、快く許すこと目標にできるかもしれません。(ア-2)どうすれば進歩できるかについて、信頼できる人にアドバイスを求めることもできるでしょう。(格 27:6 忠実な友は傷を負わせ、敵はたつぱり(if\*不誠実な/強いられて)口づけをする)

6. 人格を磨くという目標に向けて、どのように努力できますか。

6 目標に向かって努力する。どんなことができるでしょうか。例えば、磨きたいと思っている人格についてよく調べることができます。(例)人を進んで許すことを目標にするとしましょう。その場合、まず、聖書に出てくる進んで許した人や許そうとしなかった人の例について読んで、じっくり考えることができます。イエスはどうだったでしょうか。イエスは人を進んで許す人でした。(ルカ 7:47, 48)それで、彼女の罪は多い(\*大きい)とはいえ許されています。彼女は多く愛したからです。ところが、わずかしか許されていない人は、わずかしか愛しません」。48 そして女性に言った。「あなたの罪は許されています」)人の欠点ではなく、良いことを行う可能性に目を向けました。その一方で、イエスの時代のパリサイ派の人たちは「他人をさげす」んでいました。(ルカ 18:9)またイエスは、自分こそ正しいと思って他人をさげすむ人々に次の例えを話した)こうしたことじっくり考えた上で、①「自分は、ほかの人にどんな見方をしているだろうか。その人のどういうところに注目しているだろうか」と考えてみましょう。②誰かのことを許すのが難しいと感じているなら、その人の良い点ができるだけ多く書き出してみてください。そして、③「イエスだったら、この人をどう見るだろうか。この人を許すだろうか」と考えてみましょう。このようにするなら、考え方を調整することができます。誰かから傷つくようなことを言われたりされたりした場合、初めはその人のことを許すのを難しく感じるかもしれません。それでも、努力を続けるなら、進んで許せるようになるでしょう。

## 役立つ技術を学ぶ



王国会館のメンテナンスの仕方を進んで学ぶ。(7節を参照。)

\*写真: 2人の姉妹が、1人の兄弟からメンテナンスの仕方を学んでいる。そして、学んだ技術を活用している。

7. エホバは技術を持つ奉仕者たちをどのように用いていますか。 (格言 22:29)

役立つ技術を学ぶことも目標にすることができます。ベテルの施設や大会ホールや王国会館などを建設するためにどれほど大勢の奉仕者が必要か、考えてみてください。そうした奉仕者の多くは、熟練した兄弟姉妹と一緒に働いて技術を学びました。写真から分かる通り、兄弟であっても姉妹であっても、大会ホールや王国会館をメンテナンスするための技術を学ぶことができます。このように、「永遠の王」であるエホバと、「王として支配する者たちの王」であるキリスト・イエスは、技術を持つ奉仕者たちを用いて本当に素晴らしいことを行っています。 (テモ一 1:17  
朽ちることがなく、目に見えない永遠の王、唯一の神; 6:15 幸福な唯一の統治者は、定められた時に現れます。その方は王として支配する者たちの王、主として支配する者たちの主。格言 22:29 仕事に熟練した人を見たことがあるか。その人は王たちの前に立ち、庶民の前には立たないを読む。) 私たちは、自分を高めるためではなく、エホバを賛美するために、技術を用いて一生懸命に働きたいと思います。 (ヨハ 8:54 イエスは答えた。「私が自分を称賛するなら、私の称賛はむなしいものです。私を称賛してくださるのは私の父で、あなた方が自分たちの神だと言う方です）

8. 技術を学ぶための目標をどのように立てることができますか。

具体的な目標を立てる。どんな技術を学ぶことができるでしょうか。会衆の長老に尋ねてください。巡回監督に尋ねてみることもできます。例えば、話す技術や教える技術を磨くよう提案されたなら、具体的にどんな点に取り組めるか、尋ねてみてください。そして、その目標に向かって努力しましょう。そのためになにができるでしょうか。

9. 技術を学ぶという目標に向けて、どのように努力できますか。

目標に向かって努力する。(例) 教える技術を磨くことを目標にしているなら読むことと教えることに励むの冊子をよく研究することができます。週日の集会で割り当てを受けた時は、資格ある兄弟に前もって聞いてもらい、改善できる点をアドバイスしてもらうこともできるかもしれません。上手に話すという評判だけでなく、よく準備してきちんと割り当てを果たすという評判も得られるようになります。 (格 21:5 勤勉な人の計画は必ず成功(\*良いこと)につながり、せっかちな人は必ず貧乏へと向かう。コリ二 8:22 彼らと一緒に兄弟(テス)をもう1人遣わします。私たちが何度も試して、多くの事柄に関して勤勉であることを確かめた人です。兄弟は皆さんを心から信頼しているので、一層勤勉になっています)

10. 技術を学んで進歩できたどんな例がありますか。

学びたいと思っている技術が自分にとって苦手なものである場合は、どうしたらよいでしょうか。努力をやめてはいけません。ギャリー兄弟の例を考えてみましょう。兄弟は朗読するのが苦手でした。集会で朗読しようとして、とても恥ずかしい思いをしたことありました。それでも、兄弟は努力をやめませんでした。そして、受けた訓練のおかげで、今では集会や巡回大会や地区大会で話すことができるようになりました。

11. テモテに倣ってどんなことを行うなら、いつそう多くの責任を果たせるようになりますか。

11 テモテは話したり教えたりする面で優れた兄弟になったでしょうか。聖書には何も述べられていません。でも、テモテはパウロからの助言を当てはめて、自分の務めをいっそう上手に果たせるようになっていったに違いありません。（[テモニ 3:10](#) 一方あなたは、私の教え、生き方、目的にしっかりと従い、私の信仰、辛抱強さ、愛、忍耐に倣ってきました）私たちも同じように、技術を磨いていくなら、いっそう多くの責任を果たせるようになるでしょう。

## さまざまな方法で仲間に仕える

12. あなたは仲間からどのように助けられてきましたか。

12 私たちは皆、仲間からいろいろな形で助けられています。例えば、入院している時には、医療機関連絡委員会や患者訪問グループで奉仕している長者たちが訪問してくれるかもしれません。また、生活の中で難しい問題にぶつかる時には、愛情深い長者が時間を取って話を聞き、慰めを与えてくれるでしょう。誰かに聖書を教える面で悩んでいるなら、経験を積んだ開拓者がレッスンに同席し、アドバイスを与えてくれるかもしれません。私たちはこのような助けに心から感謝しています。そして、私たちを助けてくれた兄弟姉妹は、喜びを味わいます。私たちも、仲間を助けるために自分を差し出すなら、同じ喜びを味わうことができます。イエスが述べた通り、「受けるより与える方が幸福」なのです。（[使徒 20:35](#)）では、私たちは仲間のためにもっと多くのことを行いたいと思う場合、どんなことが役立つでしょうか。

13. 目標を立てる時には、どんな点に注意する必要がありますか。

13 目標を立てる時には、漠然としたものにならないよう注意しましょう。例えば、「会衆のためにもっと多くのことを行いたい」と思うかもしれません。でも、こうした目標は漠然としているので、どのように取り組んだらよいかも、いつ達成できたかも、分からぬでしょう。ですから、具体的な目標を立てるようにしましょう。立てた目標と達成するためにできることを書き出しておくことも役立ちます。

14. 目標を立てることに関して柔軟であることが大切なのはなぜですか。

14 目標を立てることに関しては、柔軟であることも大切です。なぜでしょうか。状況は変化することがあるからです。パウロの例を考えてみましょう。パウロは、テサロニケに会衆を設立することに貢献しました。そして、テサロニケにとどまって、新たにクリスチヤンになった兄弟姉妹を助けたいと思っていたことでしょう。でも、強い反対が生じたために、そこから立ち去らなければならなくなりました。（[使徒 17:1-5](#) 一行はアンフィポリスとアポロニアを通ってテサロニケに来た。そこにはユダヤ人の会堂があった。2 それで、パウロは自分の習慣通り会堂に入り、3 週続けて安息日に聖書から論じ（話し合い）、3 キリストが苦しみを受け、そして生き返る必要があったということを説明したり、関連する点を挙げて証明したりして、「私が伝えているこのイエス、この方がキリストです」と言った。4 その結果、ある人々は信者となってパウロとシラスに加わった。神を崇拝する非常に大勢のギリシャ人や、かなりの数の主立った女性たちもこうした。5 しかしユダヤ人は嫉妬し、広場をぶらつくならず者たちを寄せ集めて、町に騒動を起こし始めた。そして、ヤソンの家を襲撃し、パウロとシラスをその暴徒の前に引き出そうとした。[10](#) 兄弟たちはすぐさま夜のう

ちにパウロとシラスをベレアに送り出した。2人は到着すると、ユダヤ人の会堂に入った) パウロがとどまっていたなら、テサロニケの兄弟姉妹を危険な目に遭わせることになったでしょう。でも、パウロは仲間を助けるという目標を諦めるのではなく、状況に合わせて柔軟に対応しました。後に、テサロニケのクリスチヤンの信仰を強めるためにテモテを遣わしました。(テサー 3:1-3 私たちは、皆さんに会えないことに耐えられなくなった時、自分たちだけアテネに残ることにし、2テモテを遣わしました。テモテは私たちの兄弟であり、キリストについての良い知らせを伝える、神の奉仕者(if\*神と共に働く者)です。彼を遣わしたのは、皆さんの信仰が強くなるよう、皆さんを力づけ、慰めるためです。3誰にもこのような苦難によって動搖してほしくないからです。皆さんもよく分かっているように、私たちは苦しい目に遭うことは避けられません(\*遭うよう定められています)) テサロニケの兄弟たちは、テモテが進んで自分を差し出して助けに来てくれたので、本当にうれしかったことでしょう。

15. 自分ではどうにもできない状況が生じた時、どんなことができますか。

15 テサロニケでのパウロの経験から、大切なことを学べます。私たちは何かの奉仕の務めを捉えることを目標にするかもしれません。でも、自分ではどうにもできない状況のために、その目標を達成できなくなるかもしれません。(伝 9:11 私はこの地上で次のことも知るようになった。足の速い人がいつも競走に勝つわけでも、強い人が戦いに勝つわけでもない。また、賢い人がいつも食事にありつけるとは限らない。知的な人が裕福になるとも、知識がある人が成功するとも限らない。なぜなら、思いも寄らないことがいつ誰にでも起きるからだ) そういう場合は、達成可能な別の目標を立てるようになります。テッド兄弟とハイディー姉妹はまさにそうしました。2人は健康上の問題のためにベテルを出なければなりませんでした。それでも2人は、エホバへの愛の気持ちから、どうすれば奉仕をもっと行えるだろうかと考えました。まず2人は、正規開拓奉仕を始め、やがて特別開拓者に任命されました。テッド兄弟は代理の巡回監督として奉仕するための訓練を受けました。しかしながら、巡回監督として奉仕できる年齢に上限が設けられました。それで2人は、自分たちはもうこの奉仕を行えないと思って、とてもがっかりしました。それでも、エホバに仕える方法はほかにもある、ということに気付きました。テッド兄弟はこう言います。「私たちは、1つの奉仕の分野だけにこだわってはいけない」ということを学びました」。

16. ガラテア 6章4節からどんなことを学べますか。

16 人生では、思いも寄らないことが起きるものです。ですから、自分が得ている奉仕の立場で自分の価値を評価したり、奉仕の立場の面で自分とほかの人を比べたりしないようにしましょう。ハイディー姉妹はこう言います。「自分の生活とほかの人の生活を比べるなら、心穏やかではいられなくなります」。(ガラテア 6:4 一人一人、自分の行いについてよく考えましょう。そうすれば、人と比べて喜ぶのではなく、自分自身のことを喜べますを読む。) それで、どうすれば自分を役立てることができるだろうか、と考えるようにしましょう。\*「エホバの望まれることを行う組織」の本の第10章6-9節、「必要な大きな所で奉仕する」の部分を参照。

17. エホバにいっそ仕えるためにどんなことができますか。

17 **生活をシンプルに**し、不必要的借金をしないようにするなら、エホバにいっそう仕えることができます。長期的な目標を達成するために、**短期的な目標を立てる**こともできます。例えば、正規開拓者になることを目指しているなら、連続で補助開拓奉仕を行うことができるでしょうか。あるいは、援助奉仕者になることを目指しているなら、野外奉仕に参加する時間を増やしたり、会衆内の病気の人や年長の人を訪問したりできるでしょう。こうして経験を積んでいくなら、やがて奉仕の機会が開かれるかもしれません。**どんな務めを委ねられるとしても、ベストを尽くして果たす**ようにしましょう。（[ロマ 12:11](#)怠けたりせず、よく働いて(\*勤勉であって/熱心であって)ください。聖なる力によって**熱意に燃えましょう**。エホバ(\*)に一生懸命仕えてください）



具体的で達成可能な目標を選ぶ。（18節を参照。）

\*写真や挿絵: 家から出られない姉妹が、電話で伝道し、人々を記念式に招待している。

18. ビバリー姉妹の例からどんなことを学べますか。（写真も参照。）

18 たとえ何歳になったとしても、エホバに仕える面での**目標を立て**、それを**達成することは可能**です。75歳のビバリー姉妹の例を考えてみましょう。姉妹は**重い病気**のために、**歩くことが非常に困難**でした。それでも姉妹は、**記念式のキャンペーンにできる限り参加したい**と思いました。それで、**具体的な目標**を立てました。姉妹は、**その目標を達成して、大いに喜び**ました。姉妹の様子を見た**周りの人たちは、自分も宣教をもっと頑張ろう**、という気持ちになりました。エホバは**年長の兄弟姉妹の努力を高く評価**しています。状況のゆえに**できることが限られている**としても、そうです。（[詩 71:17, 18](#)神よ、あなたは**私が若い時から教えてくださいました**。私は今までずっとあなたの**素晴らしい偉業**を知らせてきました。18 神よ、私が年を取って**白髪になつても見捨てないでください**。私に語させてください。あなたの**力**について次の世代に、あなたの**力強さ**について生まれてくる人全てに）

19. エホバに仕える面で、どんなことを目標にできますか。

19 **達成可能な目標**を立てましょう。エホバに喜ばれる人格を磨くようにしましょう。エホバや組織のために用いることができる**技術**を学びましょう。そして、**さまざまな方法**で仲間にいっそう仕えるようにしましょう。\*「いつまでも幸せに暮らせます」の本のレッスン60「[クリスチャンとして成長し続ける](#)」を参照。そうすれば、テモテと同じように、エホバからの祝福を経験することができ、「あ

なたの進歩は誰の目にも明らかになるでしょう」。 (テモー 4:15 これらのことについてよく考え(\*默想し), 打ち込みなさい。そうすれば, あなたの進歩は誰の目にも明らかになるでしょう)

目標を立てて達成するためにどんなことができますか

### I. クリスチヤンとしての人格を磨く面で

- ・ S05 具体的な目標を立てる。

祈りつつ、自分のどこを改善できるかについて考えて、その中から1つを選んで取り組んでみる  
例えば、①いっそう思いやりのある人になること、②仲間を助けたいという気持ちを強めること  
、あるいは、③人と仲良くし、快く許すことを目標にできるかも

どうすれば進歩できるかについて、信頼できる人にアドバイスを求める こともできる

- ・ S06 目標に向かって努力する。

例えば、磨きたいと思っている人格についてよく調べることができます。

人を進んで許すこと目標にする場合、まず、聖書に出てくる進んで許したイエスや許そうとしたパリサイ派の人たちなどの例について読んで、じっくり考えることができる

### II. 役立つ技術を学ぶ面で

- ・ S08 具体的な目標を立てる。

どんな技術を学ぶことができるか、会衆の長老や巡回監督に尋ねてみる。

例えば、話す技術や教える技術を磨くよう提案されたなら、具体的にどんな点に取り組めるか、尋ねてみて、その目標に向かって努力する

- ・ S09 目標に向かって努力する。

教える技術を磨くことを目標にしているなら「読むことと教えることに励む」の冊子をよく研究する

週日の集会で割り当てを受けた時は、資格ある兄弟に前もって聞いてもらい、改善できる点をアドバイスしてもらうこともできる

上手に話すという評判だけでなく、よく準備してきちんと割り当てを果たすという評判も得られるように努力する

### III. 仲間にいっそう仕える面で

- ・ S13 目標を立てる時には、漠然としたものにならないよう注意する。

例えば、「会衆のためにもっと多くのことを行いたい」の目標は漠然としているので、具体的な目標を立て、立てた目標と達成するためにできることを書き出しておく

- ・ S14 状況は変化があるので、目標を立てることに関しては、柔軟であることも大切

- ・ S15 自分ではどうにもできない状況が生じた時には、達成可能な別の目標を立てる

・ S16 人生では、思いも寄らないことが起きるものなので、自分が得ている奉仕の立場で自分の価値を評価したり、自分とほかの人を比べたりしないで、どうすれば自分を役立てができるだろうか、と考えるようにする

38番の歌 神はあなたを強い人にしてくださる

^(テモー 4:15) これらのことについてよく考え\*, 打ち込みなさい。そうすれば、あなたの進歩は誰の目にも明らかになるでしょう。